ルピナス　Lupin

八王子市立第三・第四・第十・大和田小学校

放課後子ども教室　囲碁教室だより

68 号　2022 年 5 月

編集　成田　滋　shigerunarita@gmail.com
ブログ　https://naritas.jp/wp1/
八王子囲碁連盟　https://hachigoren.com

◆ 5 月の放課後子ども囲碁教室の日程です。基本から学べます。
第三小学校：5 月 12 日、19 日、26 日　毎週木曜日 2 時 30 分～　四階 家庭科室
第四小学校：5 月 2 日、9 日、16 日，23 日、30 日　毎週月曜日 2 時 30 分～　三階 ひらめき教室
第十小学校：5 月 6 日、13 日，20 日、27 日　毎週金曜日 2 時 30 分～　一階 家庭科室
大和田小学校：5 月 11 日、18 日、25 日　毎週水曜日 2 時 30 分～　二階　図書室

◆絵本の紹介『どうぶつ会議』
エーリッヒ・ケストナー作　ワルター・トリア挿絵

「大ニュース！！　ロンドン会議おわる、会議はしっぱい、やりなおしと決定、場所はまだきまらない」
ある日、動物たちはこのニュースにすっかりばかばかしくなってしまいます。北アフリカ、チャド湖のほとりで、ライオンのアロイスは、ゾウのオスカーやキリンのレオポルドと会います。そしてつぶやきます。
オスカー：「しょうがない人間どもだ」
レオポルド：「魚みたいに泳ぎ、ワシのように空をとぶこともでき、ぼくらのように早く走ることができる、それくらいりこうなのに、いったい人間はなにをしでかしたというんだ」
アロイス：「戦争さ、戦争と革命とストライキと飢饉だよ」　とうなります。
オスカー：「かわいい子どもたちがいつも戦争にまきこまれなきゃいけないなんて、それなのに大人はまだこんなことをいっているんだ」　「大人は、”子どもたちのために世の中がよくなるように、あらゆることをしている”って」
オスカー：「ずうずうしい話だ」
オスカー：「人間たちはいつも会議ばかりやってるけど、なんのやくにもたちやしない。そこでわしの考えじゃが、われわれ動物たちで会議をひらこうじゃないか」

いくさの後，世界平和のために国際会議が開かれますが，少しも成果があがりません．それをみておこった動物たちは，北アフリカの動物会館に集まって，動物会議を開こうと決心します．スローガンはただひとつ「子どもたちのため--」
会議の冒頭でシロクマのパウルがたちます。
パウル:「みなさん、わたしは多くのことばをついやそうとは思いません、人間みたいに多くのことばをついやすなんてことは意味のないことです」
パウル:「それは人間がいちばんたいせつなつとめをおろそかにしているからです，われわれは戦争や貧困や革命が二度とおこらないことを要求します」

どうぶつ会議では、動物たちはたった一回の会議で決着をつけるのです。ケープタウンで大人が 87 回も開いている会議に最後の要求をつきつけます。そして政治家はどうぶつたちに負けて、かわることのない平和のとりきめ、「子どものために、、、」と次ぎのスローガンに署名します。
1　すべての国境をなくす
2　軍隊と大砲、戦車をなくし戦争はもうしない
3　けいさつは弓と矢をそなえてよい、けいさつは学問が平和のためにやくだっているかどうかをみることにある
4　政府の役人と書類のかずはできるだけ少なくする
5　子どもをいい人間に育てることは一番だいじなむずかしい仕事であるから、これからさき、教育者が一番給料をとるようにする

私欲に溺れる政治家・軍人などを風刺する骨太の内容の絵本です。さまざまな動物達の習性なども描かれ、そしてユーモアも加味され、その痛快さは印象的で、たっぷり掲載されている挿絵がとにかくかわいいです。何十回も会議を重ねても戦争を回避できなかった人間を痛烈に批判した子どもたちや大人のためのお話です